MASPRO

屋外(内)用 ブースター （家庭用）

取扱説明書

地上ディジタル放送対応

VU BOOSTER
増幅チャンネル FM・ch1～62

VUB33S

UHF BOOSTER
増幅チャンネル ch13～62（VHFミキサー内蔵）

UB33S

DC15V方式

F型端子　33dB型

VHF・UHFまたはUHFの電波が弱くザラザラした画面のときに使用すると，きれいな画像で受信できます。

VUB33S
増幅部

75Ωケーブルの太さに合わせて防水キャップを切ってください。

DIGITAL
ディジタル放送対応

このマークは，各種のディジタル放送を，より高画質で見るために，妨害電波の影響を受けにくい，高いシールド性能を備えた機器にマスプロ電工が表示している，信頼のマークです。

(VUB33S)

FM・VHF・UHF帯域を増幅します。UHFは地上ディジタル放送に対応した高出力になっています。

(UB33S)

UHF帯域を増幅します。FM・VHF帯域は通過します。UHFは地上ディジタル放送に対応した高出力になっています。

VUB33S
電源部

MASter of PROduction
生産の覇者

高性能・高信頼

優れたシールド性能（特許出願中）

増幅部，電源部とも高周波部分を金属ケースでシールドし，さらに入・出力端子は，F型コネクターを使用していますから，外来電波による妨害を防ぐことができます。

余裕のある高出力

UHFは7波で103dBμの出力レベルが得られますから，伝送波数の多い地域で使用しても，障害のないきれいな画像で受信できます。また，地上ディジタル放送移行期のUHF多チャンネル受信にも対応します。

過電流保護回路

増幅部と電源部の間でショートなどの異常が発生しても，過電流保護回路によって，電源部を保護します。

優れた機能

VU混合・別入力両用

VU混合入力・別入力の切換えができますから，ミキサー内蔵アンテナやVUミキサーを使用した，VU混合入力の場合でも使用できます。

FMカットスイッチ（VUB33S）

FM放送帯域をスイッチで「増幅」または「カット」できますから，FM電波の強い地域でもテレビの受信障害はありません。

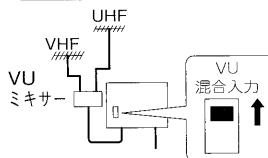
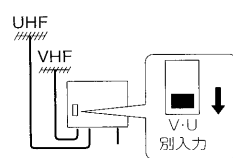
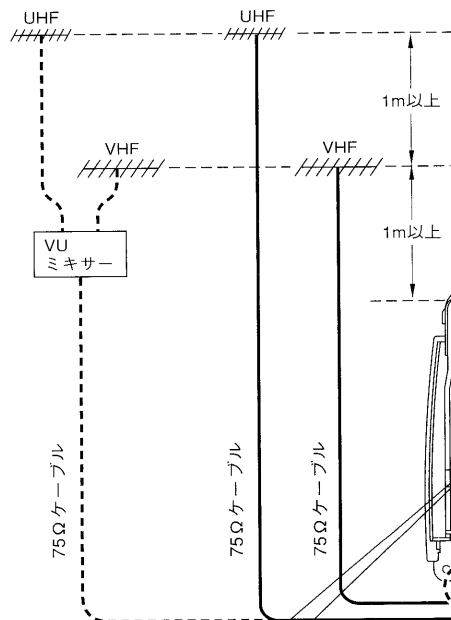
携帯電話信号除去フィルター切換スイッチ（特許出願中）

携帯電話で使用する帯域をスイッチの切換えにより，カットできますから，携帯電話の基地局が近くにある地域でも，テレビ受信障害はありません。

フタはネジ止め式

増幅部のフタはネジ止め式ですから，しっかりと固定できます。

●ご使用の前に，この「取扱説明書」と「安全上のご注意」「ブースター使用上のご注意」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

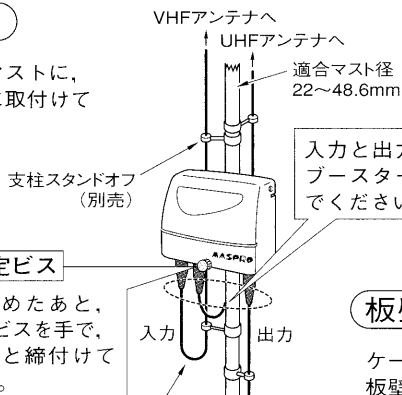
マルチメディアの
MASPRO
＝マスプロ電工＝

帯域	波数	定格出力レベル
UHF	2 波	111dBμ
	7 波	103dBμ

電源部の壁面取付寸法(原寸)

取付方法

増幅部

マスト

アンテナマストに、図のように取付けてください。

フタ固定ビス

フタを閉めたあと、必ず固定ビスを手で、しっかりと締付けてください。

ケーブルをつたって，雨水がブースター(増幅部)に入らないよう,ケーブルをU字形に配線してください。
また，別売の支柱スタンドオフを使用して,ケーブルをマストから離してください。

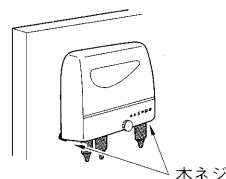
板壁面

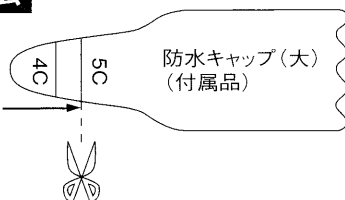
ケースについている木ネジで，板壁面に固定してください。

電源部

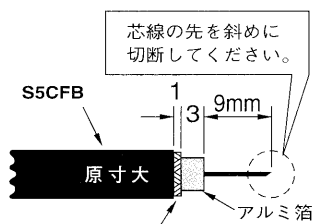
板壁面にも取付けることができます。

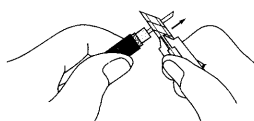
ご注意

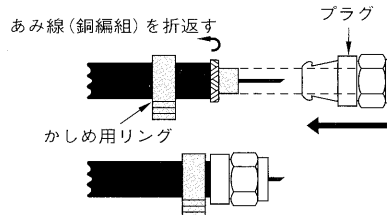
- 電源部をAMラジオの近くに置くと，ラジオに雑音が入ることがあります。できるだけ，ラジオと電源部を離した状態でお使いください。
- 電源部は，温度上昇を防ぐため，風通しのよい場所に設置してください。また，長期間ご使用にならないときは，ACプラグをACコンセントから抜いてください。

防水キャップの加工方法

5Cケーブルを使用する場合，付属の防水キャップ(大)は，5C側のラインにそって切ってください。

F型コネクター(FP5)の取付方法

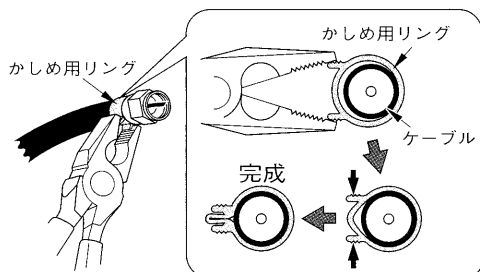
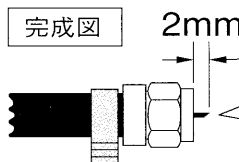
- 加工する前に，ケーブルを付属の防水キャップ(大)に通してください。
- 接触不良やショートを防ぐため，プラグはていねいに取付けてください。

①ケーブルの加工

あみ線(銅編組)をニッパー(またはハサミ)で，1mm残して切ってください。

②芯線には白い膜が付いています。導通を良くするために，必ず取除いてください。

③プラグの取付

1. かしめ用リングに，ケーブルを通してください。
2. あみ線(銅編組)を折返してください。
3. プラグを強く押込んでください。

④かしめ用リングをペンチで圧着

プラグが抜けないようにプラグの根元で，しっかりと圧着してください。

完成図

芯線が長すぎると，コネクターが破損して機器が故障します。

芯線の長さは，必ず2mmにしてください。

芯線は,まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると，ショートして機器が故障します。

使用例

4端子の場合

UHF

VHF

ブースター（増幅部）
VUB33SまたはUB33S

DC15V

電源挿入型テレビ端子からのケーブルは，必ず電流通過端子に接続してください。

4分配器
4SPF

DC15V

テレビ端子
（電源挿入型）
DFMTD

DFMT

DFMT

テレビ端子
DFMT

ブースター（電源部）

AC100V

赤い端子

DC15V

TV

よい画質が得られないときは

●各アンテナからのケーブルが，それぞれの入力端子に正しく接続してあることを，もう一度確認してください。

●電源部の電源表示灯は点灯していますか。
（入力端子側がショートしていると過電流保護回路が作動して，電源表示灯が消えます。電源スイッチをOFFにして，原因を取除き，再度ONにしてください。）

●ブースターに，DC15Vが供給されているか確認してください。増幅部の出力端子に接続したケーブルのF型コネクターにテスターを接続して確認してください。

画像が出ない場合，著しくスノーノイズが出る場合

●増幅部の出力端子Ⓒ にDC15Vがきているか確認してください。

●ケーブルが断線またはショートしていませんか。

●VU入力切換スイッチが正しく操作してありますか。

スノーノイズ

画面にビート縞・ワイパー現象が出る場合

●他の電波と混信していないか確認してください。（外部からの混信電波を止める以外に方法はありません）画質が最も良くなるように，各アンテナの方向を調整してください。

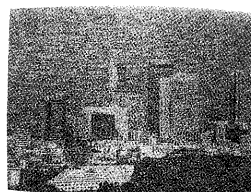
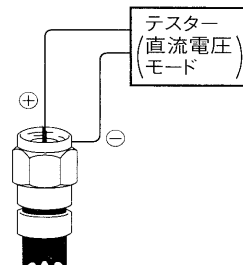
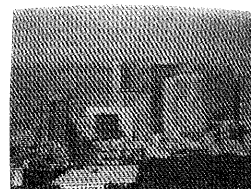
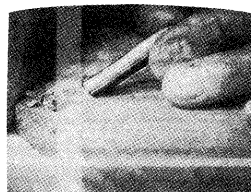
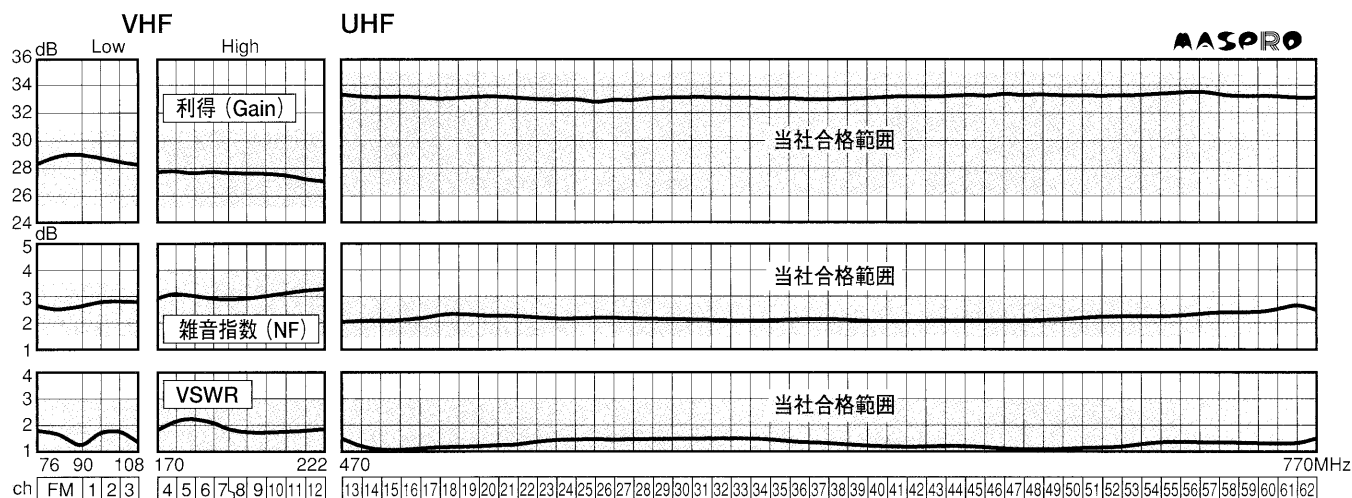
●ch1〜3の画面に障害が出るときは，FMカットスイッチを**FM**カットへ切換えてください。（**VUB33S**）

●VHF入力レベルが69〜79dBμの場合，利得調整ツマミを㊧へゆっくり回してください。（**VUB33S**）

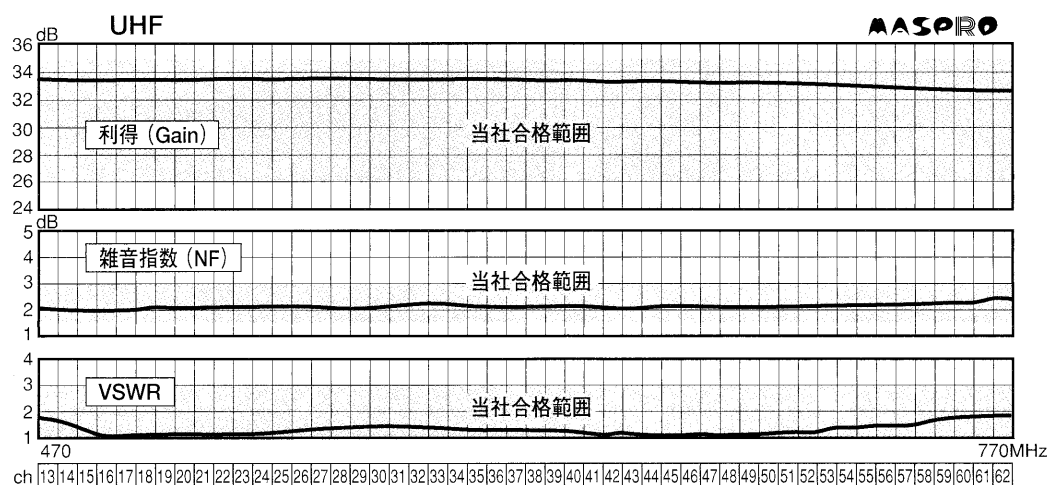
●VHFの入力レベルが79dBμ以上，UHFの入力レベルが86dBμ以上の場合，障害のある帯域（VHFまたはUHF）の入力端子に，別売のアッテネーター**ATT1.5，3，6，10，15，20**を接続してレベルを下げてください。

ビート縞

ワイパー現象

周波数特性 Frequency Characteristics

VUB33S

波形は，実測値の一例をそのまま記載したもので，作図はしてありません。

UB33S

波形は，実測値の一例をそのまま記載したもので，作図はしてありません。

マスプロの性能表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

ブースターは，正しくお使いください

ブースターを正しく取付けないと，ブースターが発振して，ご自宅やご近所のTVの映りが悪くなることがあります。

- 入力端子・出力端子の配線は，取扱説明書にしたがって，正しく接続してください。
- 入力と出力のケーブルは，束ねたりブースターに巻付けたりしないでください。
- アンテナマストに取付ける場合，VHF・UHFアンテナとブースター（増幅部）の間隔を1m以上離してください。

詳しくは，別紙「ブースター使用上のご注意」をお読みください。

規格表 Specifications（電気的特性は，JEITA表示法による）

VUB33S

増幅部

MASPRO

項目 Items	規格		
伝送周波数帯域 Frequency Range	76～108MHz (FM・ch1～3)	170～222MHz (ch4～12)	470～770MHz (ch13～62)
利得 Gain	25～31dB		26～35dB
利得偏差（P/V） Gain Response Flatness	3dB以内		5dB以内
利得調整範囲 Gain Control Range	0～⊖10dB以上（連続可変）		0～⊖10dB以上（連続可変）
雑音指数 Noise Figure	1.5～3.5dB	1.5～4dB	1.5～3dB
実用入力レベル※1 Operating Input Level	35.5（がまん限）～69dBμ（79dBμ※2）	36（がまん限）～69dBμ（79dBμ※2）	35（がまん限）～76dBμ（86dBμ※2）
定格出力レベル Rated Output Level	100dBμ（7波）		111dBμ（2波） 103dBμ（7波）
混変調／相互変調 Cross Modulation/Intermodulation	⊖46dB以下／⊖53dB以下		⊖46dB以下／ ——
VSWR	3以下		
入・出力インピーダンス Input/Output Impedance	75Ω（F型コネクター）		
電源 Power Requirements	DC15V　0.11A		
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20～⊕40℃		
外観寸法 Dimensions	135（H）×148（W）×60（D）mm		
質量（重量） Weight	約430g		
シンボル Symbol	—▷—		

実用入力レベルの最小値（がまん限）は，スノーノイズを完全に除去できませんが，実用になる限界です。
※1 VHF（FM・ch1～12）は7波，UHF（ch13～62）は2波の値です。
※2 利得を最小（利得を㊧へいっぱいに回した状態）にしたときの，最大の実用入力レベルです。

電源部

MASPRO

項目 Items	規格
1次電圧 Primary Voltage	AC100V 50・60Hz
消費電力 Power Consumption	4.9W
直流出力電圧・電流 DC Output Voltage/Current	DC15V（最大0.11A）
入・出力インピーダンス Input/Output Impedance	75Ω（F型コネクター）
挿入損失 Insertion Loss	0.2～2dB
使用温度範囲 Temperature Range	0～⊕40℃
外観寸法 Dimensions	40(H)×124(W)×99(D)mm
質量（重量） Weight	約360g

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

付属品

防水キャップ（大）…………………………3個
〃　　　（小，VHF入力端子用）……1個
木ネジ（3×15mm，電源部取付用）……2本
F型コネクター（5Cケーブル用）…………5個

UB33S

増幅部

MASPRO

項目 Items	規格	
伝送周波数帯域 Frequency Range	470～770MHz (ch13～62)	76～222MHz (FM・ch1～12)
利得 Gain	26～35dB	——
通過帯域損失 Insertion Loss	——	0.5～1.5dB
利得偏差（P/V） Gain Response Flatness	5dB以内	——
利得調整範囲 Gain Control Range	0～⊖10dB以上（連続可変）	
雑音指数 Noise Figure	1.5～3dB	
実用入力レベル※1 Operating Input Level	35（がまん限）～76dBμ（86dBμ※2）	
定格出力レベル Rated Output Level	111dBμ（2波） 103dBμ（7波）	
混変調 Cross Modulation	⊖46dB以下	
VSWR	3以下	
入・出力インピーダンス Input/Output Impedance	75Ω（F型コネクター）	
電源 Power Requirements	DC15V　0.09A	
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20～⊕40℃	
外観寸法 Dimensions	135（H）×148（W）×60（D）mm	
質量（重量） Weight	約420g	
シンボル Symbol	—▷—	

実用入力レベルの最小値（がまん限）は，スノーノイズを完全に除去できませんが，実用になる限界です。
※1 UHF（ch13～62）は2波の値です。
※2 利得を最小（利得を㊧へいっぱいに回した状態）にしたときの，最大の実用入力レベルです。

電源部

MASPRO

項目 Items	規格
1次電圧 Primary Voltage	AC100V 50・60Hz
消費電力 Power Consumption	4.2W
直流出力電圧・電流 DC Output Voltage/Current	DC15V（最大0.11A）
入・出力インピーダンス Input/Output Impedance	75Ω（F型コネクター）
挿入損失 Insertion Loss	0.2～2dB
使用温度範囲 Temperature Range	0～⊕40℃
外観寸法 Dimensions	40(H)×124(W)×99(D)mm
質量（重量） Weight	約360g

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

付属品

防水キャップ（大）…………………………3個
〃　　　（小，VHF入力端子用）……1個
木ネジ（3×15mm，電源部取付用）……2本
F型コネクター（5Cケーブル用）…………5個

MASter of PROduction 生産の覇者

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝

本社〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋（052）802－2244
工事営業部 〃 （052）802－2225
技術相談 〃 （052）805－3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所
沖縄（098）854-2768
鹿児島（099）812-1200
宮崎（0985）25-3877
熊本（096）381-7626
長崎（095）864-6001
福岡（支）（092）531-3861
北九州（093）941-4026
下関（0832）55-1130
徳山（0834）32-2954
広島（082）230-2351
松江（0852）21-5341
岡山（086）252-5800
松山（089）973-5656
高知（088）882-0991
高松（087）865-3666
姫路（0792）34-6669
神戸（078）843-3200
大阪（支）（06）6635-2222
工事営業部（06）6632-1144
京都（075）646-3800
津（059）234-0261
岐阜（058）275-0805
名古屋（支）（052）802-2233
工事営業部（052）804-6262
豊橋（0532）33-1500
静岡（054）283-2220
松本（0263）57-4625
福井（0776）23-8153
金沢（076）249-5301
新潟（025）287-3155
横浜（045）784-1422
渋谷（支）（03）3409-5505
工事営業部（03）3499-5631
秋葉原（03）3255-7335
青戸（03）3695-1811
八王子（0426）37-1699
千葉（043）232-5335
さいたま（048）663-8000
前橋（027）263-3767
水戸（029）248-3870
宇都宮（028）660-5008
郡山（024）952-0095
仙台（022）786-5060
盛岡（019）641-1681
秋田（018）862-7523
青森（017）742-4227
函館（0138）53-7355
札幌（011）782-0711
釧路（0154）23-8466
旭川（0166）25-3111
北見（0157）61-0480

2K55-461
B-31-4461-1L
JAN., 2003